

同志館だより

平成28年秋号

◆◇ 同志館 平成28度春季昇段級審査会 段位合格者発表 ◇◆

少年部 <初段補>

亀山 心華	スイヒア	佐野 匠	スイヒア	関藤 佑哉	壬生	光武 奈央	壬生
横山 桃子	アカツ	山口 将登	アカツ	山内 梨聖	愛知		

少年部 <初段>

野口 拳伸	スイヒア	文字 岳龍	スイヒア	大富 曜生	宇治
-------	------	-------	------	-------	----

少年部 <二段>

西川 一成	スイヒア
-------	------

一般部 <初段補>

林 直人	壬生
------	----

一般部 <初段>

文字 美景	スイヒア	橋本 義彬	スイヒア
-------	------	-------	------

□—————— 今日は、道場生の保護者の声をお届けします

インタビュー

壬生道場 親睦会会長 宮下弘幸さんです

『お子様の拓磨くん（中1）、美咲さん（小4）が空手を習ったきっかけは？』

拓磨は突然「僕、強くなりたい！」と言ったので、経験も知識もなかったですが空手を選びました。美咲はお兄ちゃんの練習している姿を見て、やりたい気持ちが芽生えて始めました。

『拓磨くんは小学1年、美咲さんは年長で同志館に入会していますが、長く続ける秘訣は？』

拓磨自身の目標は黒帯になるまで続けることでした。途中、強くなれない、試合で勝てない、しんどいなど辞めたい気持ちもあり、悩み苦しむ時期もありました。それでも初心を忘れず頑張って続けるように励ますと、中学進学をきっかけに、自分の意志で続けることを決めました。

『空手を習って子どもにとって良かったこと、また、身についたことがあれば教えてください』

空手の技術だけでなく、礼儀や挨拶などの面も指導していただくことで、自分で用意することや行動できる力がついたと思います。また、近所や学校以外での空手の仲の良い友達がたくさんできしたこと、空手のライバルもできて良かったと思っています。

『拓磨くんは3月の全国中学選抜大会に選出され、美咲さんは全少大会に連続出場しています。ご家庭ではどのようなサポートをされていますか？』

空手の指導は朴原会長、喜美代館長、美智代副館長に全てお任せしていますので、「試合に勝ってきなさい！」と言ったことはありません。常に「今まで積み重ねた自分の力を精一杯発揮するように」と試合に送り出しています。

『思うような結果が出ないとき、どのように励ましていますか？』

今、自分に何が足りないか、何を頑張るべきかを家族で話すようにしています。親子で先生方の指導される言葉を振り返って考えて、目標を明確にすることっています。

『ひとりの保護者として同志館の保護者の方にお伝えしたいことがあればお願いします』

子どもが空手を継続するには、ご両親の力は大きな支えだと思います。子どもの課題はそれぞれ違いますが、親同士が話をして解決の糸口が見つかることもあります。ひとりで悩まず皆さんと一緒に頑張っていきたいです。今後ともよろしくお願いします。